

学 校 だ よ り

平成24年6月15日

小中一貫教育を推進しています。

財光寺地区には2つの小学校と1つの中学校があります。同じ地区にある学校同士ばらばらにならないように連携できる場所は連携して、教育水準を高めていこうと努力しています。小学校は違っても同じ取組をして、1つの中学校に上がることは十分意義のあることです。昨年度から、特に、「無言清掃」に3校が取り組んでいます。やり方も一緒です。清掃が始まる前にはチャイムに合わせて黙想し、チャイムが終わると同時に無言のまままで時間いっぱい清掃をする、という取組です。どの学校も同じように取り組んでいるので、中学校に上がってからも同じ感覚で自然に取り組むことができるようになります。このことは、ものごとに取り組むときの大きな心構えの形成に役立っており、「中1ギャップ」といわれる一種の不適應現象の解消にも繋がるものと思っています。

そのほか、あいさつをすることやスリッパを並べることなど、基本的な生活習慣の指導を年間を通してやろうとしています。こういった取組は学校が目指している基礎的・基本的な学力を身に付けていく上で、とても有効な取組になっていると感じています。身の回りの整理整頓が自分自身でできることは、自分を律する子どもへと成長してくれると思います。自分を律することができる子どもは、大人になるにつれ、しっかりとした社会性を身に付けていってくれるものと思います。「立派な社会人になること、自分のことを自分でできる大人になること」の土台を築けるとと思っています。

これは、今、盛んに言われてきている「キャリア教育」の基礎にもなっていると思っています。スポーツの世界でも技術や技を教える前に、しっかりとしたあいさつができるように指導しますが、これは、人としての大切な心構えを身に付けていくことが技術の向上にも欠かせないことであるという認識だと思っています。

財光寺小学校の教育目標は『わたしを見てください』といえる財っ子の育成』を掲げています。「わたしを見てください」と言えるようになるには多くのことを学んでいきますが、でも、子どもたちは日々いろいろなことができるようになっていきます。私たち大人が驚くような成長を遂げています。学習内容も学年が上がるにつれ、もちろん難易度も上がってきていますが、教師の授業改善の取組を全員で進めています。今年、特に、国語と算数の指導に力を入れて研究しています。

小中合同研修会を開催しました

以上のようなことを確かめるために、6月13日(水)3校合同の研修会を開催しました。財光寺南小と財光寺中の全職員みなさんに財光寺小に来ていただき、そうじや授業の様子を見ていただき、研究会をもちました。この日は国立教育研究所、北部教育事務所、市教育委員会からも参加があり、貴重な助言をいただきましたので、今後の学校での指導に生かしていきたいと考えています。

あわせて、今年3校合同で「魅力ある学校づくり」を目指した取組を進めています。これまでの取組を更に充実させたいと考えています。

【文責：本山】